

令和5年12月22日

豊岡 耕一郎

終業式の挨拶

皆さんおはようございます。本当に時間のたつのは早いもので2023年も間もなく終了、2学期の終業式を迎えることになりました。毎朝皆さんと交わしてきた挨拶も今年は今日が最後です。最近、元気良く挨拶してくれる生徒や止まって挨拶をしてくれる生徒が多くなったような気がして、毎日元気をもらっています。また、一緒になって毎朝挨拶運動をしてくれているチアリーディング部、正門の外まで落ち葉掃きをしてくれている男子バレー部もありがとうございます。小学生や中学生、近所の方々からも多く挨拶を受けるようになりました。たかが挨拶なのですが、こうやって毎日やり続けていると、環境が良い方向に変わっていくのはうれしいことです。

さて、2学期は学校行事に、勉強に、部活動にと本当に忙しい日々だったのではないのでしょうか。

まずは文化祭、今年は保護者、卒業生、中学生など多くの来場者を迎え大盛況の中で行われました。工夫を凝らした演目が多く全てを見るのが大変だったのですが、どの演目も皆さんが楽しんでいる姿を見ることができました。また、卒業生や保護者の方々も一緒になって楽しんでくれるのが雪高のいいところで、中でもチアリーディング部における卒業生と在校生による中庭での演技は圧巻でした。来年はどのような風景が見られるのかが楽しみです。

11月16日に行われた110周年記念式典も印象深い物でした。実に雪谷高校らしい式典で、最後みんなでメガフォンを持って母校応援をした時は、参加者に多くの感動を与えたようです。

部活動のほうも、観戦が解禁されたお陰で、今までみることでできなかった部活動の公式戦を見に行くことができました。今年はちょっと遠くても自転車を使って合同合宿や試合を見に行くことに挑戦しました。やはり公式戦で懸命に戦っている姿を見るとこちらも力が入ってきます。接戦で敗戦したケースもあったかもしれませんが、どの部活動も明らかに練習の成果が出ています。引き続き全体練習の質の向上と、これが大切なのですが部員一人一人が計画的に個人練習に励んで努力することを続けてください。

文化部の方も、吹奏楽部、茶道部、書道部、美術部などが地域の活

動に積極的に参加してくれたり、作品を出展してくれたりしてくれました。その中でも美術部の2年生杉村友里子さんが、東京都総文祭中央展で最優秀賞を受賞し、来年の全国総文祭に東京都代表として出品することとなりました。おめでとう。

他にも2学期は進路選択の大切な時期でもありました。自分が社会にどのように関わっていくかを自ら問いかけ、自分と向き合い、それぞれ文理選択や志望校を選択したはずです。既に目標に向かって行動を起こし始めた1・2年生も多く見かけました。3年生はもちろん第一志望合格のため、最後の追い込みに入っていることでしょう。何度も言いますが今まで頑張ってきた自分を信じて、焦ることなく最後までやり通してください。

最後に例年行われている学校説明会についてですが、生徒会執行部や広報委員、有志の皆さんが中心となって運営してくれたお陰で、今年も大盛況でした。参加してくださった方々からは、生徒の皆さんが、礼儀正しく、明るく元気に挨拶をしてくれること、生徒が主体的に活動していること、学校の雰囲気明るくて綺麗なことなどの感想を多くいただきました。中には様々な学校を見てきたけれどこれ程生徒が素晴らしい学校はないと感動していた方々もいらっしゃいました。このように雪谷高校は多くの方々に支持されている学校なのですが、ここで皆さんに改めて考えていただきたいのは、今後雪谷高校はどうあるべきなのかという事です。雪谷高校でしか発信することができないものは何ですか、これが無くなれば雪谷高校でなくなってしまうものは何ですか、雪谷高校が求められていることは何ですか、この問いを胸に皆さんがそれぞれ意識して自発的に行動してほしいと思います。そういった意味では、最近生徒会が中心となって活動してくれたゴミ0運動は大変良い傾向だと思います。皆さん一人一人が自覚と誇りを持って学校生活を送ってください。

それでは皆さん、健康には十分留意して、3学期始業式には元気な顔を拝見できることを楽しみにして挨拶を終了します。